

2期生

2003/4~2009/3



井川 貴光
市原 良将
鵜飼 貴史
川合 雄基
駒形 勇人
藤城 裕太
鈴木 翔太
鈴木 佑児
竹内 一貴
竹内 涼
三室 陽介
三好 康介



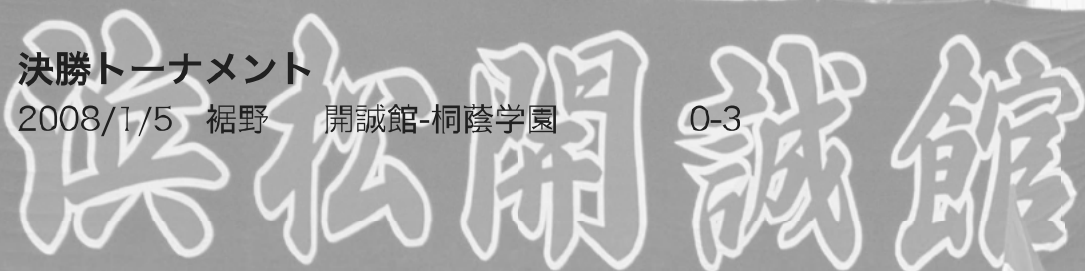
時之栖カップ

予選リーグ ブロック1位

2008/1/3	裾野	開誠館-金光大阪	3-1
2008/1/4	裾野	開誠館-水戸商業	3-0
2008/1/4	裾野	開誠館-東京学院新潟	4-1

決勝トーナメント

2008/1/5	裾野	開誠館-桐蔭学園	0-3
----------	----	----------	-----



新人戦

予選リーグ

2008/1/12	安久路G	開誠館-浜松学芸	7-0
2008/1/13	安久路G	開誠館-浜松東	5-0
2008/1/19	エコパ	開誠館-浜北西	7-1

西部決勝トーナメント 優勝

2008/1/26	エコパサブ	開誠館-浜松市立	3-1
2008/1/27	安久路	開誠館-浜松北高	2-0
2008/2/2	エコパサブ	開誠館-浜名	2-0

県大会 Best 8

2008/2/9	静岡西高	開誠館-静岡西	3-0
2008/2/10	静岡西高	開誠館-磐田南	5-0
2008/2/16	草薙	開誠館-静学	1-3



Ikawa



Ichihara



Ugai



高校総体

西部予選

2008/4/12	開誠館 G	開誠館-掛川東	3-0
2008/4/19	県営 G	開誠館-オイスカ	8-2
2008/4/20	オイスカ	開誠館-芥田学園	12-0
2008/4/26	開誠館 G	開誠館-興誠	1-1

西部決勝トーナメント

2008/5/3 稗原 G 開誠館-磐田北 2-0

前半13分に先制。その3分後、竹内涼の技ありのミドルシュートで追加点。大層得点の期待が掛かったが、追加点を奪えず2-0とやや物足りない点差での勝利だった。

2008/5/4 ゆめりあ 開誠館-磐田南 4-0

前半、磐南の守備をなかなか崩せず1-0とスロースタート。後半になってようやくエンジンが掛かり、4-0で快勝。

決勝

2008/5/5 エコパサブ 開誠館-浜松北 2-0

開始早々先制すると、20分後には山崎がゴール左から切り込み、鮮やかにゴール。その後、追加点こそ奪えなかったものの、終始安定した試合運びで、北高を寄せ付けなかった。

高校総体県大会

2008/5/17 開誠館 G 開誠館-清水東 0-1

好カードの開誠館 V S 清水東は、清水東が前半にフリーキックで得たゴール前の混戦よりシュートを放たれ GK の好セーブにも関わらずこぼれ球を押し込まれ、この1点が重く開誠館にはのしかかり試合終了となった。

開誠館は、疲労なのか緊張なのかイレブンの体の切れがなく、清水東の速いプレスに慌ててしまい、自分たちのリズムとなるサイド攻撃の形ができず、攻め込んではいるがシュートを打つタイミングが遅く、その奪われたボールがカウンターとして攻め込まれ最後までリズムをつかむことができなかった。(静岡西部サッカー協会HPより)



Komagata



Kawai



Sycula. S

ユースリーグ

2008/4/5	開誠館G	開誠館-静岡西	1-0
2008/4/6	開誠館G	開誠館-浜松北	1-1
2008/6/14	浜大G	開誠館-日大三島	6-0
2008/6/15	浜大G	開誠館-吉原商業	1-0
2008/7/13	ホンダG	開誠館-ホンダ	3-0
2008/7/19	浜大G	開誠館-磐田北	2-1
2008/8/2	エコパ人工芝	開誠館-袋井	2-1
2008/8/5	エコパ人工芝	開誠館-静岡北	4-2
2008/8/12	開誠館G	開誠館-藤枝北	0-0
2008/8/31	聖隷高校G	開誠館-聖隷高校	4-0
2008/9/6	開誠館G	開誠館-焼津中央	3-0

9勝2分 勝点29 得点27 失点5 リーグ1位



Yuji. T



Ryou. T



Kazuki. T



Fujishiro

高校選手権

1次トーナメント

9/13 (土) 開誠館G 御殿場高校 9-0

前半8分、PKのチャンスをきっちり決めると、その1分後に追加点。更に1分後と2分後にも追加点。開始12分で早くも4-0。その後、やや攻撃のペースは落ちたが、それでも前半に3点、後半に2点追加し、終わってみれば相手に1本のシュートも許さず9-0で圧勝。

9/14 (日) 開誠館G 聖光学院 4-0

前半は引いて守る相手に対して1点しか奪えなかったが、後半は本来の攻撃が見られ、3点追加。危なげない勝利で予選トーナメント突破まであと1勝。

9/21 (日) 開誠館G 富士高校 8-0

前半3分、竹内一貴がこぼれ球を押し込み早くも先制。その後も鋭い右サイドからの切れ込みで2点追加し、前半だけでハットトリックを達成した。後半は藤城2、松浦、堀内と得点を重ね、8-0の大勝で予選1次トーナメント突破を決めた。4回戦まで勝ち進んできた富士高校だったが、終始開誠館の攻撃に圧倒され、何も出来ずに試合を終えた。

2次リーグ

10/18 (土) 湖西吉美G 大仁高校 10-0

2次リーグ初戦、10得点の大爆勝！ さい先の良いスタートが切れた。

10/19 (日) 清水蛇塚G 東海大翔洋 4-0

開始早々からゲームを支配。いきなり決定的チャンスを作るが惜しくも外れる。何度か良い形でチャンスを作り、前半17分、竹内涼のフリーキックにDI杉本が滑り込んで合わせ先制。29分には竹内涼が蹴りこんで2点目。後半も中西、山崎が得点を重ね、今年度のインハイ静岡代表の東海大翔洋を4-0と圧倒した。

10/25 (土) 県営海浜公園G 吉田 4-0

先週の東海大翔洋戦のほぼ完璧とも言える試合の後では、物足りなさを感じてしまう試合だった。相手に攻め込まれる場面も多く見られた。もちろん危ない場面は無かったのだが、シュートを打たれた数としては、1次トーナメント、2次リーグを通じて最多だった。得点も2戦全敗の吉田相手には、4点は少なすぎると言えるだろう。何はともあれ3戦全勝、得点18失点0で2次リーグ1位通過が決まった。2次リーグで失点が0なのは開誠館だけだし、得点も最多だ。



Mimura



Miyoshi



最終トーナメント

11/1 (土) 藤枝総合運動公園 陸上競技場 藤枝東 0-1

第一試合の浜松開誠館は、昨年の選手権覇者・藤枝東と激突した。MF竹内涼を中心とした開誠館は、藤枝東のテンポの良い中盤のパススピードに圧倒され、また選手権という見えないプレッシャーに圧倒された。青嶋監督が「あれだけ自滅したら…」と嘆いたほど、これまでのパスサッカーが影をひそめてしまった。

立ち上がりから出足が重い開誠館は、前半36分にGKとDFのコミュニケーションの判断ミスから11番村松に先制ゴールを奪われる。ミスからの失点に動揺したのか、その後も開誠館らしいパスで崩す場面がなかなか生まれず、相手の早いプレスに苦戦を強いられた。

立ち上がりから積極的にボールを追う藤枝東は、後半に入ると足をつる選手が続出したが、最後まで走り続ける姿勢を崩さなかった。逆に開誠館は足取りが重いまま、試合をコントロールできずに1点のビハインドをひっくり返す事ができなかった。

「一番、うちにとってはなっかってほしくない状況になった」と話す青嶋監督。「経験の差でしょうか。攻守ともに、自滅した感じ。普段とは違う局面ばかりだった」と選手権の怖さを口の当たりにした。「試合前のアップから、選手たちが硬かった。試合が始まるまでにリラックスしてくれればと思っていたが、経験を積んでいかないと、難しいですね」静岡県覇者を口指すチームには、見えない重圧が重くのしかかる。この重圧に勝った時が、開誠館が本当の意味で静岡県の「強豪」の仲間入りを果たすことができるのだろう。(静岡県サッカー西部地区の情報広場から転載)